



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成30年9月

うるわし通信

地域防災力を高めよう

ここ数年、全国的に地震や台風・大雨での大規模災害が多発しています。地球温暖化による影響、急速な都市開発によって危険な山際への住宅開発、想定外の大雨による河川の氾濫など、状況はさまざまですが、生命が失われる事態となっています。

桜井でも昨年の台風で、がけ崩れや浸水などの被害も出ている状況で、市内の纏向川・初瀬川・栗原川・寺川・米川など、山から平地へと急速に下降する河川が多く、山に降った雨は水量が急が増えて下流に流れてくる状況となっています。



台風で、えぐられてしまった寺川の堤

今後、台風シーズンを迎え、地域の防災力を高めていくことが、一層重要となっており、市内の各自治会単位に「自主防災会」が結成されて、日頃の様々な取組みがおこなわれている状況です。

特に、最近では行政からの「避難準備情報」「避難勧告」などがメールで発信されてくことも多く、地域の一人暮らし高齢者（独居老人）、高齢者夫婦、障がい者の方が居られる家庭など、地域でのサポートをどのようにおこなっていくかが、課題となってきています。マスコミなどでは、避難情報が送られてきても、避難所に行った人の割合は限られていたことが、報道されていますがその背景には、今までに大きな被害はなかった、夜に避難勧告が出されて動けなかったことや、避難所までの距離の問題などもあると思われます。

桜井市内では、台風などの自然災害での避難所として小学校体育館が開設されることがありますが、もっと地域に則した身近な場所での避難所の開設の検討も必要ではないでしょうか。もちろん、開設のための人員の配置の問題もありますが、避難所に行こうとしてもなかなか行けない状況も、どのような形で、地域で助け合うかの取組み（日ごろからの諸準備）が必要となってきています。

確かに、奈良県は台風などの大きな被害を受けることも、他府県と比べて少なかった経緯もあり、「今回も大丈夫でよかった」と被災の少ないことを喜んできたのですが、平成23年9月の紀伊半島豪雨災害では、大きな被害が十津川を中心に発生して、7年になります。

昨年の10月の大雨では、市内東部・南部の山間地域では多くの崩落災害が発生しています。＜自助＞・＜共助＞・＜公助＞はよく言われていますが、もう一度身の回りの点検と、家族間での確認・そして地域での緊急避難先等々を確認しておきましょう。

【通信 編集部】

桜井のまちづくりについて(私たちは、今 何ができるか)

7月『うるわし通信』では、「桜井本町通・周辺まちづくり ～一歩ずつ、夢が実現～」と題して、本会常任理事の岡本健さんに、まちづくりの取組みについて投稿頂きました。

編集部としては随時、市内で取組まれているまちづくりについて紹介をしていきたいと考えていますが、奈良県と桜井市が「まちづくりに関する包括協定」を締結して、どのような取組みが現在進められているのかを、再度紹介しておきたいと思います。

以下に紹介する項目は、桜井市のホームページに紹介されている、平成26年12月22日付の「桜井市のまちづくりについて」の項目から、抜粋したものです。

既に4年近くが経過していますので、この間拠点施設が完成したものや、工事がされているものも、今後具体的に工事等が始まるものもあります。

これらの取組みは、人口の急激な減少と高齢化を背景に、住民が安心できる健康で快適な生活環境を実現し、地域性を活かした、賑わいのある住みよいまちづくりを進めることを目的に、県と市の協働のプロジェクトと位置付けられています。

中和幹線栗殿近隣（医療・福祉・防災の新拠点施設）周辺地区のまちづくり

【拠点施設】の整備

- 桜井市保健福祉センター（陽だまり）の開設
- 奈良県広域消防組合桜井消防署の開設

【周辺まちづくり】

- 歩道整備など利用者に優しい導線の確保
- 市内サイクリング・ウォーキングルートの新設による健康づくり
- 公園整備による子育て支援や健康づくり
- 子どもの一時預かり機能の充実



奈良県広域消防組合桜井消防署



桜井市保健福祉センター（陽だまり）



陽だまり「つどいの広場」

桜井駅周辺地区のまちづくり

○市の中心拠点区域として、地方都市リノベーション(大規模改修工事)推進施設を再整備する地区。
○既存ストックである駅前ビルなどを再生・利活用し、子育て支援施設などを設置するとともに、地域交流促進機能、商業施設も誘致、併せて既存商店街の活性化を目指す。(子育て支援、商店街活性化、賑わいの復活等)



エルト桜井2階イメージ図

大神神社参道周辺地区のまちづくり

【沿道のまちづくり整備事業】

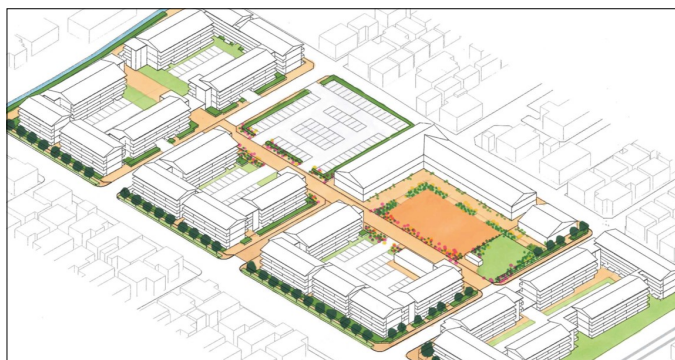
- 参道らしさを感じさせるまちなみの形成
- 魅力の集約・連続性の確保による賑わいの創出
- 四季の彩り・人々の営みが息づく空間の演出



大神神社参道イメージ図

近鉄大福駅周辺地区のまちづくり

- コミュニティバス等により、様々な世代の住民が自動車に依存しない、歩いて暮らせる街を形成
- 地域内の路地も活かし、歩いて楽しい街をつくる仕掛けづくりについて地域と協力して取り組む
- 高齢者の集いの場や地域交通、在宅介護等の拠点空間を創るため、県営住宅敷地を活用した拠点整備を検討



県営住宅桜井団地イメージ図

長谷寺門前町周辺地区のまちづくり

- 長谷寺を中心に観光振興を柱にまち興しを図る地区
- 門前通りの活性化につながる施設整備を行うとともに、地元NPOと連携し振興施策の展開を図る

5つの事業を限られた財源の中で取組むためには、地域住民の方々の参画や提言、そして先進地での事例研究やそれを参考にした知恵や工夫も求められると思います。

今、私たちに何が出来ていて、何をしていくことが求められているのか、引き続き皆様方からの投稿をお願いし、紹介していきたいと考えています。

【うるわし通信 編集部】



門前町桜の馬場イメージ図

第44回 大和さくらい万葉まつり

日 時 9月16日(日)12:00～20:00

場 所 桜井市役所周辺

最古の市を現代風に再現した屋台村「海石榴市(つばいち)」
桜井市役所前ロータリー及び国道において、総踊り「桜井音頭」を披露
市役所庁舎を3Dマッピングし、万葉まつりや市の歴史などを映写する光
のアートでフィナーレ

問い合わせ先 大和さくらい万葉まつり実行委員会事務局

TEL: 0744-48-3110



第7回忍坂街道まつり

開催日 10月13日(土)

第一部 街道ウォーク: 神武東征の道 桜井駅南口バス停付近集合

受付: 午前8時30分～ 出発: 午前9時20分

桜井駅→麻生田→半坂峠→栗原寺跡→越塚古墳→石位寺

第二部 歴史講演会: 神武東征の謎に迫る 皇學館大学名誉教授: 岡田登氏

時間・場所 午後1時30分～ 忍坂生根会館

定 員 先着順 午前の部50名 午後の部130名 (受付開始9月1日)

参加費 無料(バス料金は自己負担)

問い合わせ先 桜井市観光まちづくり課 TEL: 0744-42-9111 内線341

お知らせ

●図書館友の会

10月の読書会は、「生権力の歴史」小松美彦著です。

なぜ脳死が人の死とされるのか。なぜ尊厳死が推進されるのか。「人間の尊厳」の系譜を、ギリシア哲学やキリスト教神学からたどり直し、生権力の淵源に迫る。

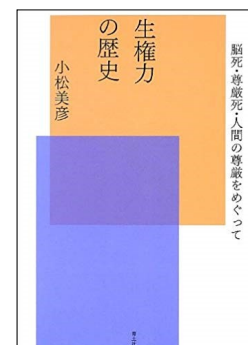
日 時 10月5日(金)13:30から

場 所 コミュニティーカレッジ 知の森 (近鉄大福駅から北西へ100m)

この本を数回に分けて読みます。希望者はテキストを事前にお申込みください。

問い合わせ先 浅川 肇 TEL: 090-1961-6345

友の会会員以外の参加も歓迎します。



【編集後記】 昨年9月は、国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭が県内自治体で開催という雰囲気の中で迎えた。うるわしの会も9月「芸能発祥の地 桜井 能楽の源流」と11月「卑弥呼の里 芸術祭 ～障害のある人もない人も共に～」の取組みに積極的に参画し、市民と共に感動を味わった。現在「卑弥呼の里 芸術祭」の第2回目を準備中で、開催時期は来年2月23日(市立図書館)になる。今年の11月4日に市民会館で、『まほろば国際音楽祭』が開催され、プレイベントが、大神神社・談山神社・等彌神社・聖林寺・土舞台で行われる。共に芸術の秋を楽しみたい。

うるわし通信発行人
高瀬 安男
TEL: 090-1678-9157